

2009年 第19回環境地質学シンポジウム

主催：地質汚染－医療地質－社会地質学会(<http://www.jspmug.org/>)

準主催：IUGS-GEM Japan Branch 共催：日本鉱物科学会・日本情報地質学会・NPO日本地質汚染審査機構

12月4(金)・5(土) 於：早稲田大学 西早稲田キャンパス理工学部55号館 N棟大会議室B(地下鉄東京メトロ副都心線「西早稲田」駅下車)

参加費：一般参加費(論文集代含む)：7,000円(社会地質学会員 5,000円)学生参加費(論文集代含む)：5,000円(社会地質学会員 4,000円) 共催団体会員の割引あり

12/4

9:55 開会のあいさつ

古環境変遷および浅海・湖沼・ラグーン域の人間活動に伴う影響

10:00-10:15 新潟県沿岸地域の最終間氷期の古地理
10:15-10:30 千葉県中央区道場南の地下地質環境について

10:30-10:45 野尻湖湖底表層堆積物の粒度組成から見た堆積環境

10:45-11:00 野尻湖柱状試料粒度プロファイル及び音波探査記録から見た湖水面変動
11:00-11:15 琵琶湖湖底堆積物の生物源シリカ含有率から見た気候変動史
11:15-11:30 海砂採取後海域の海底環境変化－愛媛県大三島南方海域－
11:30-11:45 中海浚渫地におけるいわゆる“へドロ”堆積物の識別について
11:45-12:00 総合討論

仲川隆夫
木村和也(茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター)・会田信行・阿由葉 司・池田秀史・奥田昌明
・香川 淳・風岡 修・楠田 隆・黒住耐二・斉藤岳由・酒井 豊・佐久間 豊・高橋康明・高島英世・楡井 久
・檜山知代・古野邦雄・丸井敬司・安田敬一・吉田 剛・吉野秀夫
菅井一磨(早稲田大学人間科学部)・滝口 健・青木優作・中西俊貴・近藤洋一・公文富士夫・井上卓彦
・井内美郎
中村祐貴(早稲田大学人間科学部)・菅井一磨・青木優作・近藤洋一・井上卓彦・井内美郎
中西俊貴(早稲田大学人間科学部)・岩本直哉・天野敦子・相沢育美・ 井内美郎
井手直道(早稲田大学人間科学部)・天野敦子・岩本直哉・中西俊貴・井内美郎
井内美郎(早稲田大学人間科学部)・一宮大和・柳野勝史・山崎泰弘・三瓶良和・徳岡隆夫・宮地良典

地質汚染の機構解明から浄化対策および廃棄物層・有害地質・ファイトレメディエーション

13:10-13:30 本セッションポスターのコアタイム
13:30-13:35 P 地下水の硝酸汚染と水質に対する難透水層の機能
13:35-13:40 P 汚染土壌及び自然土壌に含まれる重金属粒子の化学的・形態的特徴
13:40-13:55 湾岸埋立地域における地質汚染 ー特にLNAPLについてー
13:55-14:10 原油の地下浸透に伴う土壌・地下水中のBTXの濃度変化について
14:10-14:25 六価クロム地下水汚染の縮小要因の検討について
14:25-14:40 エネルギー分散型蛍光X線分析装置を用いた鉛汚染サイト土壌の分類

14:40-14:55 Two-dimensional mapping analysis of heavy metals in an arsenic-releasing mudstone by micro-PIXE
14:55-15:10 亜鉛メッキ工場における重金属類汚染地層対策および地下水の汚染機構と浄化対策
15:10-15:25 嫌氣的脱塩素分解によるVOCs浄化評価を目指した水素拡散試験用カラムの検討
15:25-15:40 The potential of the aquatic macrophyte Eleocharis acicularis for phytoremediation of metal-contaminated environments
15:40-15:55 カヤツリグサ科マツバイによるファイトレメディエーション技術の実用性
15:55-16:10 焼却残渣の比抵抗測定
16:10-16:25 廃棄物埋立跡地での地下空気吸引と地下水揚水による汚染物質流出防止対策に伴う地盤沈下
16:25-16:40 土壌汚染対策法指定調査機関による汚染調査の問題点 ー地質汚染調査機関のレベルアップに向けてー
16:40-16:55 改正土壌汚染対策法下における地質汚染調査
16:55-17:20 総合討論

錦織達啓(茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター)・小原崇嗣・武島俊達・亀山 瞬・高松武次郎・楡井 久
高階義大(洛菱テクニカ株)
楠田 隆(千葉県地質環境研究室)・香川 淳・吉田 剛・池田秀史・宇澤政晃・檜山知代・酒井 豊
安田善雄(石油資源開発株式会社)・平野ひとみ・益永茂樹
打木弘一(基礎地盤コンサルタンツ株)・高嶋恒太・楠田 隆・酒井 豊・香川 淳
高階義大(洛菱テクニカ株)
Hisanari Sugawara(愛媛大学理工学研究科)・Masayuki Sakakibara・David Belton・Tetsuya Suzuki・Daisuke Takehana
岡野英樹(㈱アステック)・武島俊達・岡見智章・大島健太・片桐 章・和田信彦・尾毛谷茂有・小原崇嗣
・山崎洋平
吉川美穂(ケミカルグラウト株)・和田忠輔・竹内美緒・駒井 武・坂本靖英・張 銘
Nguyen Thi Hoang Ha(愛媛大学大学院理工学研究科)・Masayuki Sakakibara・Sakae Sano・Koichiro Sera

榊原正幸(愛媛大学理工学研究科)・大森優子・Nguyen Thi Hoang Ha・佐野 栄・世良耕一郎・堀 利栄
杉崎真幸(早稲田大学理工学部)・樋口健人・中田純平・香村一夫
楠田 隆(千葉県地質環境研究室)・吉田 剛・古野邦雄・笠原 豊・香川 淳・西川順二・濱口 聡・宮崎 隆
・田村嘉之・石井泰裕・風岡 修・加藤晶子・山本真理・酒井 豊
酒井 豊(千葉県地質環境研究室)・楠田 隆・風岡 修・香川 淳・古野邦雄・吉田 剛・加藤晶子・山本真理
上砂正一(環境地質コンサルタント)

人工ダストの編年および医療地質学と地質資源利用に伴う社会の持続性

17:20-17:35 ため池底質及び表層土壌に含まれる球状炭化粒子を用いた大気汚染履歴の解明 ー京葉臨海地域を例としてー
17:35-17:50 長崎県長崎湾堆積物中の球状粒子を用いた化石燃料燃焼史の解説
17:50-18:05 ため池底質中の重金属元素と硫酸イオン濃度からみた大気汚染と健康被害の関係性～四日市地域を例として～
18:05-18:20 環境疫学的視点による重金属バックグラウンドと平均寿命に関する考察
18:20-18:35 アジア太平洋地域における資源産業と社会の持続可能性
18:35-18:50 総合討論

加藤孝和(早稲田大学理工学部)・金井篤史・北瀬(村上) 晶子・香村一夫
平川恵梨(大阪市立大学理学研究科)・北瀬(村上) 晶子・奥平敬元・吉川周作・山崎秀夫
石渡真己(早稲田大学理工学部)・磯嶋光一郎・北瀬(村上) 晶子・香村一夫・木方展治
張 銘(産業技術総合研究所地圏資源環境研究部門)・駒井 武・原 淳子
村尾 智(産業技術総合研究所地圏資源環境研究部門)

地下水益管理・地質災害の低減と土地および地質環境の持続的利用

18:50-19:05 千葉東金における地震動の特徴
19:05-19:20 本セッションポスターのコアタイム

12/5

9:30-9:45 釧路湿原の周縁から湧出する湧水と湿原周辺の地下水の水質
9:45-10:00 富士山北麓の地下水循環と富士五湖の水の起源

丸谷 薫(北海道立地質研究所)・清水康博
奥水達司(山梨県環境科学研究所)・戸村健児・小林 浩・尾形正岐・内山 高・石原 諭

特別講演

10:00-10:50 法地質学研究の近年の動向

杉田律子(科学警察研究所法科学第三部主任研究官)

11:00-11:40 地質汚染－医療地質－社会地質学会総会

地下水益管理・地質災害の低減と土地および地質環境の持続的利用

12:45-12:50 P 千葉県地観測井における孔内地下水の温度
12:50-12:55 P 下総層群下部・上部帯水層の多項目水質計検層結果
12:55-13:00 P 沿岸メガリッブル砂体が影響？砂丘内陸側斜面下部における液状化－流動化現象 ー1987年千葉県東方沖地震時の房総半島九十九里平野白子町での例ー
13:00-13:15 千葉県における深層地下水位の現況
13:15-13:30 大阪平野西部における沖積層上部砂層の地下水流動環境の検討
13:30-13:45 地下水シミュレーションの事後監査－濃尾平野の地盤沈下シミュレーションの場合ー
13:45-14:00 天然ガス(上ガス)が湧出する潮だまりの白濁と色調変化
14:00-14:15 地下水質及び地層質からみた酸化フロント
14:15-14:30 鉛直高密度地下水質測定による地下水涵養メカニズム解明の例 ー下総台地に設置された部層オーダーの透水層区分に基づく地下水観測井に基づくー
14:30-14:45 腐植物質を用いた金属元素の錯体形成および腐植酸鉄の長期安定性
14:45-15:00 平成21年7月中国・九州北部豪雨災害による山口県防府市真尾周辺における土石流災害の発生要因について
15:00-15:15 新潟平野などの事例からみた地盤の液状化現象
15:15-15:30 荒砥沢ダム上流域の大規模地すべり冠頭崖背後の亀裂の状況とジオパーク構想
15:30-15:45 活構造および震源分布からみた長野県信濃町北部～新潟県妙高市南部のネオテクトニクス
15:45-16:00 廃棄物最終処分場のLinerと活地塊

16:00-16:25 総合討論
16:25-16:30 授賞式・閉会のあいさつ

P: ポスターセッション, 指定時間のコアタイムに説明あり, 各セッションのはじめに5分間スピーチあり.
* 共催団体やプログラムの最終変更および新型インフルエンザによる会場変更等は <http://www.jspmug.org/> にてご確認ください.
書籍のシンポジウム特別割引あり(今回は, 展示見本を参考に当日シンポ会場にて申し込んでいただきます)

古野邦雄(千葉県地質環境研究室)・香川 淳・吉田 剛・風岡 修・楠田 隆・加藤晶子・山本真理・酒井 豊
吉田 剛(千葉県地質環境研究室)・風岡 修・古野邦雄・香川 淳・楠田 隆・山本真理・加藤晶子・酒井 豊
風岡 修(千葉県地質環境研究室)・佐藤光男・室井 純・吉田 剛・古野邦雄・楠田 隆・香川 淳・酒井 豊
・片山浩明・土屋隆彦・原 雄・香村一夫・佐藤賢司・楡井 久
香川 淳(千葉県地質環境研究室)・古野邦雄・楠田 隆・酒井 豊
澤田有希(大阪市立大学理学研究科)・三田村宗樹
藤崎克博(環境地質コンサルタント)
吉田 剛(千葉県地質環境研究室)・風岡 修・古野邦雄・楠田 隆・香川 淳・酒井 豊
藤ヶ崎 稔(八千代市環境保全課・日本地質汚染審査機構)・谷口路代・高倉 歩・上 由紀恵
風岡 修(千葉県地質環境研究室)・鈴木恵佐夫・高倉 歩・藤ヶ崎 稔・吉田 剛・酒井 豊・山本真理・中丸純平
大塚敬嗣(日鉄環境エンジニアリング)・川辺能成・小川桂子・森田佳実・駒井 武
川辺孝幸(山形大学地域教育文化学部)・風岡 修

仲川隆夫
初倉克幹(基礎地盤コンサルタンツ株)・川辺孝幸・松波孝治
・斉藤隆志・栃尾 健・小倉京子・荒砥沢キャニオンを守る会
川辺孝幸(山形大学地域教育文化学部)・近藤洋一

楡井 久(日本地質汚染審査機構・地球汚染－地質汚染基礎科学研究センター)

